

未来へつなぐ

富山市の教育

～「教える」から「育てる」へ～

教えて!

イベントレポート 

次世代につながる教育フォーラム

～現代(いま)を、そして未来に生きる子どもたちのために～

開催日時：令和5年2月5日(日) 13:00～15:30

会場：富山国際会議場 メインホール

基調講演：「未来の教室」をつくろう

GIGA スクール構想で始まる学びの自律化・個別最適化

●講師：浅野 大介 氏 (経済産業省 産業資金課長)

POINT
1

もっと自分の好きなことにのめり込もう!
多様な意見をもって
いる他者のことを尊重しよう!

POINT
2

これからの学びは「知る」、「創る」を循環させることが大事。
正解のない探究的学習や教科横断型(STEAM)学習に転換していこう!

POINT
3

学校の校則やルール等、身近なものからルールメイキングしていこう。
変えること自体を目的とするのではなく、対話を重ねてみんなが納得するためのプロセスを大切にしよう!



浅野さんはGIGAスクール構想を土台として、デジタルを活用した教育現場の変革を行ってきた第一人者だね。



基調講演が気になる方は動画をチェック!



ペロリッチ

パネルディスカッション：「持続可能なコミュニティ・スクールの可能性」

●コーディネーター：寺島 雅峰 氏 (富山市PTA連絡協議会アドバイザー、元富山県PTA連合会会長)

●パネリスト：高田 重信 氏 (富山市議会議員、元富山市PTA連絡協議会会長)

寺坪 昌晃 氏 (富山市立東部中学校PTA会長)

宮口 克志 (富山市教育委員会教育長)

コミュニティ・スクールは、学校・保護者・地域みんなが子どもたちの成長を願って学校づくりをする組織のことよ。

学校と保護者や地域が「一緒の立場」で話し合うことで学校の運営がやりやすくなったり、いろいろな立場の人が参加することで新しい考えが生まれたりするみたいね。

うまく活用できれば、学校・先生の困りごと解決や新しい学校の使い方が出てきて、よりよい学校になりそうね。



マチコ



裏面は、富山ゆかりの「あの人」からメッセージが届いているから、ぜひ見てみてね!





2児の母として子育てに奮闘中！ フジテレビの石本 沙織アナウンサーから 卒業生・保護者の皆さんへメッセージをいただきました！

石本沙織（いしもと・さおり）

1980年生まれ 富山市出身 富山市立西田地方小学校 富山市立南部中学校
富山県立富山高等学校 早稲田大学卒業 2003年フジテレビ入社

「卒業」に想う

まもなくご卒業される皆さん、そして保護者の皆様、この度はご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私事ではありますが、私もこの3月に20年間務めた会社を退社するというので、大人になって一番大きな「卒業」を迎えようとしています。まさに今、皆さんと同じような希望と不安を感じています。これからどんな未来が待っているのかわかりませんが、学生時代、未来に期待を膨らませていたあの時の気持ちを思い出し、さまざまなことに挑戦していきたいと思います。

保育園、小学校、中学校、高校、大学…などなど、さまざまな卒業を経てきましたが、その記憶を呼び起こそうとすると、共に思い出されるのが「歌」や「演奏」です。小学校5年生の時は、6年生を送るための「蛍の光」を合奏。6年生の時は「巣立ちの歌」を合唱。その際に、恒例の「呼びかけ」をみんなで練習しました（懐かしい！今でも呼びかけ、あるのでしょうか……？）。

中学の時は私たちだけの希望で、当時全国的に広がりつつあった「旅立ちの日に」を歌いました。もともとは1991年に埼玉県秩父市立影森中学校の校長先生と音楽の先生が作ったというこの曲。テレビか何かで聞いた私は、絶対にこの曲を自分の卒業式に歌いたい！と強く先生に提案したのを覚えています。今でもこの曲を聴くと、卒業式のシーンが思い出されて涙がこみ上げてきます。

卒業式の「涙」はとても尊いものです。「悲しい」とか「寂しい」という感情だけではなく、もっとキラキラした感情に満ちた涙。希望、夢、未来、思い出、感謝…その涙の中にはプラスの感情がたくさん詰まっているのです。

私が見てきた涙の中でも不思議だった涙があります。それは母親が流していた涙。小学校卒業式の退場の時、ふと

保護者席にいる母親がハンカチで涙を拭う姿が見えました。その時は「私の卒業式なのに、なぜお母さんが泣いているのだろうか？」と不思議に思いましたが、自分が親になってみると、あの時の母親の気持ちが少しわかる気がします。この間まで赤ちゃんだと思っていた娘があっという間に大きくなったこと、何より無事にここまで成長できたこと。そして、ここまで子育てよく頑張った！と自分をほめたい気持ち、また子育てがそろそろ落ち着き始める寂しさ…などなど。想像するに、卒業する自分よりもはるかにさまざまな感情がこみ上げていたのだと思います。自分が親になって改めて両親に感謝することばかりですね。

保護者の皆様もまさにそんな子育て真っ只中だと思いますが、一人の人間を産み育てるということは本当に大変で尊いことです。私も仕事をしながらの子育てに、終わりのないマラソンのようにゴールが見えずとりあえず週末をゴールにして突っ走っていますが（笑）、いつか子育ても「卒業」する日が来るのですよね。「大変なのは今のうち。終わったら終わったで寂しいものよ。」という諸先輩方の言葉を信じ、一日一日を大切に娘たちと向き合いたいと思います。……そう思うと、人生にはまだまだ素晴らしい「卒業」が待っていますね。人生これからです。



上：娘2人と
左：母親と小学校の卒業式

お問い合わせ先 富山市教育委員会事務局学校再編推進課

〒930-8510

富山市新桜町6番15号 Toyama Sakura ビル

☎ 076-443-2241

☎ 076-443-2069

✉ gakkousaihen@city.toyama.lg.jp

